

2005年度 日本エイズ学会第1回理事会 議事録

日時：2005年4月22日（金）午後2時～3時30分
 場所：東京大学医科学研究所新病院棟8階トミーホール
 出席者：岩本愛吉（理事長）、稲葉憲之、岡本 尚、奥田研爾、小柳義夫、白阪琢磨、新庄文明、杉浦 互、高田 昇、中瀬克己、馬場昌範、原田信志（第19回会長兼）、三間屋純一、池上千寿子（第20回会長）、木原正博（7th ICAAP 事務局局長）、木村 哲（監事）以上16名
 欠席者：青木 真、今井光信、岡 慎一、戸谷良造、根岸昌功、速水正憲、堀 成美、松下修三、満屋裕明以上9名
 事務局：福田 博、原田 浩、加賀康司（以上3名（株）メディア・イッシュより）
 塚田あずさ（理事長秘書）

議 題

議事に先立ち、出席者各位より自己紹介がなされた。

（報告事項）

- 1) 会員現況（報告者：事務局）
 会員現況（昨年同期より101名増、団体を含む合計会員数：1699名）の説明がなされた。
- 2) 2004年度決算（見込）報告（報告者：事務局）
 2004年度決算見込について、主な項目を中心に説明が行われた。昨年の学会事務センター破産に際しての、徴収不能金につき詳細報告がなされた。
- 3) 日本エイズ学会誌刊行状況（報告者：岩本理事長、事務局）
 なお、配布資料に基づき、6巻の刊行報告と7巻の予定の説明がなされた。日本エイズ学会誌7号1巻については、HIVとC型肝炎の特集を組み、まもなく発行される予定である。
- 4) 第19回日本エイズ学会学術集会について（報告者：原田学術集會会長）
 第19回日本エイズ学会学術集会の開催概要および演題募集要項の案が提示され、準備のスケジュール、プログラム委員会、特別講演・シンポジウムの日程などが報告された。会期は2005年12月1日（木）～3日（土）、会場は熊本市市民会館、熊本市国際交流会館で開催されることが報告された。
- 5) 第20回日本エイズ学会学術集会について（報告者：池上学術集會会長）
 第20回日本エイズ学会学術集会の準備状況が報告された。会期は2006年11月30日（木）～12月2日（土）、会場は過去にも使用されている北とぴあを予定している。最終日は一般公開講座を予定している。

- 6) 第6回ECC山口メモリアルエイズ研究奨励賞について（報告者：岩本理事長、事務局）

昨年と同様に、ECC山口メモリアルエイズ研究奨励賞候補者の募集について、日本エイズ学会誌7巻2号に掲載すること、および、推薦依頼文を理事・評議員に郵送することが報告された。今回より、研究奨励賞歴代受賞者も会誌に掲載する予定である。選考委員会委員長として松下修三氏が選出され、委員会構成は理事長、選考委員長に一任された。

- 7) 第2回アルトマーク賞について（報告者：事務局）

第2回アルトマーク賞推薦依頼を学会誌7巻2号に掲載予定であり、同時に推薦依頼文を理事・評議員に郵送する予定である。

- 8) その他

1. 第7回アジア・太平洋地域エイズ国際会議について（報告者：7th ICAAP 木原事務局局長）

資料配布に基づき、木原事務局局長から同国際会議開催進捗状況などが説明された。スカラシップ受給者200名が決定され、参加国は84カ国、アジアからアフリカ、中近東へと広がりを見せるとの報告があった。

（協議事項）

- 1) 理事長推薦理事について

岩本理事長から、熊本大学エイズ学研究センター病態制御分野の松下修三氏を理事に推薦することが報告され、承認された。

- 2) 監事の指名について

岩本理事長から、監事として前理事長の国立国際医療センターの木村 哲氏が推薦され、同氏を選出した。岩本理事長が同氏に監事を委嘱した。

- 3) 理事の役割分担について（庶務、会計、編集、ホームページ）

庶務は松下修三理事、会計は岡本 尚理事、編集は杉浦互理事、ホームページは高田 昇理事が担当することとなった。編集については、担当理事が編集委員長を兼ねることが望ましいのではないかとの意見が提出された。

- 4) 第21回（2007年）日本エイズ学会会長候補の選出について

第21回日本エイズ学会学術集會会長候補の選出について審議された。これまでの臨床・基礎・社会の分野での開催状況と開催場所が考慮され、広島大学病院輸血部の高田昇理事を選出した。

以上